

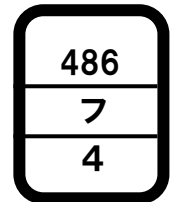
Library News



大山崎中学校図書室

令和5年5月

図書館オリエンテーション



4月の第3週に一年生に図書館オリエンテーションを行いました。

国語の1時間を使って、図書室の使い方、本の並べ方を説明し、

本を貸し出しました。本の背表紙のラベルの数字には意味がある、それを知っておくだけで、本を探しやすくなります。また、多くの公共図書館や高校の図書館でも同じ並べ方が採用されているので、初めての図書館でも迷うことなく本が探せるようになります。

今年もやります、図書委員 Presents 学級文庫

5月8日に第一回図書委員会が開催されました。5月9日よりお昼のカウンター業務は図書委員が行います。同時に去年初めて取り組んだ、図書委員 Presents 学級文庫もスタートしました。

学級文庫運営のお願い

- ・ 本は教室内で読んでください。持ち出さないこと。
- ・ 週に1度、図書委員が本をチェックします。机の中に本を入れている人は図書委員にみせてください。
- ・ 1カ月ごとに図書委員が本を新しく選び直します。
- ・ 面白かった本があれば図書委員に伝えてください。図書委員のやる気スイッチがはまります。
- ・ 家で読みたくなった人は図書委員と一緒に図書室まで本を持って来てください。



新着案内

『ぼくたちはまだ出逢っていない』 八束 澄子

クラスメートからの暴力で10円ハゲをつくってしまった中三の陸。母の再婚で見知らぬ街に住み、見知らぬ男の人たちと家族になろうとしてもできず、街をさまよう美雨。自分の居場所や生き方に自信が持てない二人はある日……。京都を舞台にした中学生の青春物語。うるしや金継ぎ、といった珍しい伝統工芸が描かれています。



『タイム・オブ・デス、デート・オブ・バース』 窪 美澄

築60年のスラム街のような古い団地に私は姉と二人きりで住んでいる。父はもう死んでいないし、母は私たちを捨てて出ていった。パン工場でバイトをしながら夜間高校に通っていると、ある日突然、自称、団地警備員のぜんじろうさんに一緒に来るようにいわれ、警備員のボランティアをはじめめることに……。深刻な状況なのにどこかふんわりとした主人公がどんどん成長していくところが胸アツです。

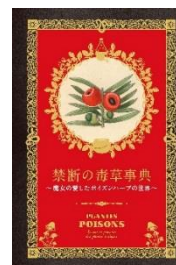


『夜がうたた寝してる間に』 君嶋 彼方

特殊能力を持つものが一定数いて、持たない人と共存している世界。能力者は常に金バッジをつけ能力者であることを隠すことは許されない。能力者は世間からはうとまれ、監視される側なのだ。そんな中、時を止める能力を持つ冴木が通う高校で3階の教室から全ての机が花壇に投げ捨てられるという事件が起きて……。能力者がマイノリティーとして差別されるという変わった設定です。もしあなたがこんな世界に生きていたら、能力を持ちたい？



『禁断の毒草事典 魔女の愛したポイズン・ハーブの世界』 エリカ・ライス
なんという装丁でしょう。こげ茶に真紅の背景をのせ金字の題名と縁どり。さらに天、地、小口にもべったりと金をあしらっていて、実に魔女っぽい仕上がり。でも中身は美しい植物図鑑。シクラメンやジキタリスのような園芸種からコーヒー、ジャガイモといった食用植物まで細密画で描かれています。でもここにある植物はみな毒性があるのです。さて、その使い方は……。こっそり持っていたいような妖しさに満ちた小さな本です。



司書のひとりと 昨日の本棚から 『名探偵のままでいて』 小西 マサテル

いわゆる安楽椅子探偵もの。幻覚や幻視が起こる、レビー小体型認知症になってしまった祖父。孫の楓が見舞いに行きがたら身近に起きた事件を相談すると、頭の良かった祖父はあっという間に事件を解決してしまいます。楓は祖父の認知症の進行を怖れつつもその知性の輝く瞬間を見たくて何度も祖父の所へ通いますが、楓自身が事件に巻き込まれて…題名に痛いほど現れている楓の気持ちに、ちょっとうるっときてしまいました。レビー小体型認知症の特徴がうまく使われているのも見事。ミステリーというよりもホームドラマのような温かい気持ちになる本でした。

